

舟橋 2

新川 4

高野 5

利田 6

五百石 7

下段 10

大森 11

釜ヶ渕 12

上段 13

東谷 14

岩峠 15

千垣 16

芦峠 17

立山駅周辺 18

立山 20

ゆるぶく遊歩

たてやま・ふなはし散策スポット

立山舟橋商工会女性部

A Promenade Through Town

Lovely Places to Roam in Tateyama and Funahashi

舟橋村は面積が3.47km²の日本一小さい自治体です。電鉄富山駅から電車で15分足らずの越中舟橋駅には、カモシカが訪れたことで知られる村立の図書館が併設されています。

駅の周辺には、役場や学校、村民のための多目的施設である舟橋会館、児童館などが集まり、新たに舟橋村分遺所も加わりました。桜並木が続くオレンジロードと京坪川を挟んで広がるオレンジパーク（京坪川河川公園）は、村民はもちろん訪れる人にとっても安らぎスペースであり、立山連峰を望むことができる絶好のビュースポットです。

Funahashi Village, at 3.47 square kilometers, is the smallest municipality in Japan. On a train from Dentetsu Toyama Station, it takes barely 15 minutes to reach Echū-Funahashi Station, where senn - native antelope - have been known to appear at the annexed library.

Surrounding the station, a multi-purpose meeting hall for the local townspeople, the town hall, schools, the town's youth center, and the nearby fire department union of Funahashi stand together.

Orange Road, which is lined with cherry blossom trees, as well as the spacious Orange Park, which contains Kyonotsubo River (also known as Kyonotsubo River Kasen Park), are tranquil spaces that are often visited by Funahashi residents. They make one of the best viewing spots for hopefuls wishing to see the Tateyama Mountain Range.



オレンジ
ロード
Orange Road



越中舟橋駅と村立図書館
Echū-Funahashi Station and Village Library



舟橋会館 Funahashi Kaihakan Meeting Hall



商工会青年部発案のばんどり太鼓
Benvori Daiko drumming by the Men's League of
the Local Society of Commerce and Industry



商工会女性部創作の
カーモくんクッキー
Kamo's Cookies created by the
Women's League of the local
Chamber of Commerce and
Industry

舟橋村産の枝豆・かぼちゃを使用

舟橋という地名は、仏生寺城の城主が城の堀に舟を連ねて橋を架けたことに由来すると言われています。戦国時代に細川氏によって築かれたと伝わるこの城は、舟橋村役場付近に築かれていたと推定され、発掘調査により曲輪(くるわ)・堀・井戸などの建物跡が発見されています。

竹内にある天神堂古墳は前方後円墳で、現在はその上に神明社が建立されています。

地鉄高架橋の西の方、小平遺跡からは、绳文時代晚期の石器や土器が発掘され、江戸時代の貨幣 寛永通宝も出土したことから、この土地で紀元前から人々と生活が営まれていたことがうかがえます。



無量寺 Muryōji Temple

今から800年ほど前に建立された古いお寺で、ばんどり騒動の舞台として知られています。毎年夏には蓮の花が美しく咲きます。

As for the name Funahashi, it is said to have originated from the lord of Bushōji Castle, who had a string of ships (fun) suspended like a bridge (hashi) in the castle moat. It is said the castle was built during the Sengoku period by the Hosokawa samurai clan. It is estimated to have been in the area of present-day Funahashi Town Hall where traces of buildings such as the walls of the castle regions along with the moat and wells have been discovered through excavation.

To the west of the railway's elevated bridge, stone tools and unglazed earthenware from the last stages of the Jōmon period have been excavated. Some Kansei-Tanka coins from the Edo period have also been unearthed. And so, from every direction we can get a peek at the lives kept from as far back as B.C. times.

ばんどり騒動

徳川幕府から明治政府へと政治が受け継がれても、人々の暮らしがすぐによくなることはありませんでした。ことに明治2年は凶作でした。それでも年貢米の取り立ては厳しく、不満をつのらせた農民たちは、信望厚い塙越村（現在の立山町利田）の忠次郎を中心に、村役人に改革案を出願しました。願いは聞き入れられず、無量寺で結集した農民たちは忠次郎を先頭に、上役人のいる魚津を目指しました。あつという間に新川全郡に及ぶ百姓一揆へと膨らんだ騒動は、金沢藩兵隊によって忠次郎が捕えられたことにより終結し、罪を背負った忠次郎は処刑されました。

この一揆によって藩政治の矛盾点が明らかになり、明治4年の廃藩置県が実行される一因となったということです。

ばんどり…わらで作られた用具の一種



たてやまの 立山町 Tateyama Town

にい かわ 新川 Niikawa

寺田駅に降り立つと、懐かしい場所に帰ってきたような気持ちになります。

昔、新川のあたりには「高野庄」と呼ばれる荘園がありました。後に、高野庄は室町幕府三管領家のひとつ細川氏の領地となり、細川氏の流れをくむ細川越中守の厚い保護を受けたことから、村々は繁栄しました。山王神社や照名寺、毎年4月に行われる山王神社の獅子練りなどが、古い時代の名残りを伝えています。

三管領家一室町幕府の將軍に次ぐ役職。細川氏・畠山氏・斯波氏が交代で就任したので、この三氏は三管領と呼ばれた。



寺田駅
Terada Station



照名寺 Shomyoji Temple

かつて照名寺の中庭には樹齢400年を超える力エデの大木がありましたが、安全のため、倒されながらも伐採されました。

境内には、秋に咲く桜の木があります。



山王神社の獅子頭

Lion mask of Sanno Shrine

4月の祭礼では獅子練りの後、子供たちの健やかな成長を願って、獅子頭に頭を噛んでもらう「おわたまし」という珍しい行事が行われます。

たか の 高野 Takano

立山町の北東部に位置する高野地区は、桶津川が南北に横切っています。昔、桶津川の西に湿地が続いて沼や沢がたくさんあったことから、江崎・米沢・沢新などの地名がつけられたということです。

In the Northeast area of Tateyama Town is Takano area, where the Tochizu river runs south to north, splitting the area in half. Long ago, wetlands dominated the section west of the Tochizu river with marshes and swamps, explaining why some neighbourhoods in the area such as Eiaki, Yonezawa, and Sawashin contain Japanese characters related to water in their names.



大祖里神社

Osoiri Shrine

ああそり
大祖里神社に伝わる不思議な話

光り輝く紫雲の樹

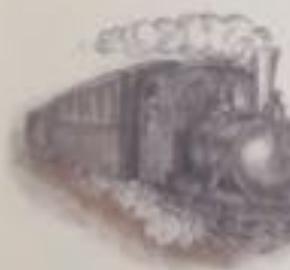
今から1500年ほど昔、このあたりに盗賊が出て人々を苦しめました。兵を擧げて取り締まろうとしたが手ごわく、苦戦していました。ある夜、大樹が突然光を放ったので盗賊は目がくらみ、戦いは一気に有利になったということです。人々は、「これこそ大祖様のお守りのお陰にちがいない」と神明社を建てました。

この大樹は「紫雲の樹」とも呼ばれ、200年くらい前まで高くそびえて立っていたということです。

懐かしの立山軽便鉄道

立山軽便鉄道は、滑川と五百石の間を結んで大正2年に開通しました。レールは幅76.2cmと普通より狭く、もくもくと煙を出しながら「ペーッ」と汽笛を鳴らす黒い機関車が、客車や貨車を引いて走りました。人力車よりも速くしかも安かつたので人々の足となり、また、馬車に比べて割安な運賃で米を運ぶこともできたそうです。さらに、原料や

製品・燃料の輸送が便利になったことにより立山製紙会社（現在の立山製紙株式会社）のような工場もでき、その後、大正10年には立山駅（現在の岩峰寺駅付近）まで延長されました。



地域の発展に貢献し子供たちの夢を乗せて走った立山軽便鉄道は、電気鉄道の開通によって昭和7年に惜しまれながら姿を消したのです。

利田 Rita

富山市の中心部から東に進み、富立大橋を渡ると利田地区に入ります。このあたりは、既存の工場に加え、新たな企業の進出や住宅の増加、天然温泉施設や大型商業施設がオープンするなど、賑わいをみせています。

一方、神社やお地蔵様、古い言い伝えや昔ばなしらしが数多く残っています。「ばんどり騒動」の中心人物として刑場に散った宮崎忠次郎は塙越村の出身でした。

Moving away from the center of Toyama city, heading east, and crossing Furyu bridge will take you to Rita region of Tateyama Town. Around here, besides factories, many new businesses and residences have launched into existence. You can also see the bustling of recently-opened natural hot springs, large-scale commercial stores, and much more.

Meanwhile, countless shrines, old Jizo statues, legends, and tales remain in this area. It is also worthy to note that Chijiro Miyazaki, the hero who was executed for spearheading the Banjori Riots, was from Tsukagoshi Village (present-day Rita).



乳地蔵 このお地蔵様をお参りするとお乳の出がよくなると語られています。
Chimi-Rao - praying to this stone statue is said to improve lactation in young mothers.



八幡社と宮崎忠次郎記念碑
Hachiman Shrine and Chijiro Miyazaki's Monument



焼ノ爪神社 Hiyotsuna Shrine
畜産農耕の神が祀られています。



常願寺川公園 Yogenji River Park

五百石 Gohyakkoku

五百石の今昔…高原野から五百石へ

五百石という地名は、江戸時代の終わりごろ、「高原野」と呼ばれていた原野を拓こうと村の役人が加賀藩に五百石高の開拓を願い出たことに由来します。開拓はしだいに進み、やがて町立ての許可が下されました。そして、五百石天満社のあたりが、立山と富山湾を南北に結ぶ往来と、現在の富山市中心部につながる東西の道とが交わる場所だったことから、農業のかたわら商売をする者が増えてきました。

Gohyakkoku THEN and now…from Takaharano to Gohyakkoku

Until about the end of the Edo period, the Gohyakkoku region was called Takaharano. It originates from a time when village government officials asked the Kaga clan for a permission to reclaim an open area of wild fields that was worth five hundred kokuaka, or gohyaku-kokuaka. Development went underway, and permission was granted for the formation of a town in that area. Around the area of Gohyakkoku Tenman Shrine, traffic from north to south formed between Toyama Bay and Mt. Tateyama. From there, they would intersect with streets that ran east to west from the town to central Toyama City. This set the scene for growing areas of agriculture and business.



明治時代初めの中町通り

Nakamachi Street in the early Meiji period



昭和中頃の中町通り

Nakamachi Street in the mid-Shōwa period



商売の守り神 市姫社

Ichihime Shrine - a shrine said to protect businesses



五百石天満社の大鏡「立山御嶽尊御宝前鏡」

Okagami (large mirror) of Gohyakkoku Tenman Shrine

大鏡は、江戸の商人らが資金を提供し作られたもので、明治の初めまで芦北寺の鐘堂にあったと考えられています。現存する和鏡としては日本最大級の大きさを誇ります。

五百石の今昔…商工業の中心、お出かけ・観光の拠点

立山町元気交流ステーション「みらいぶ」は、1階に五百石駅や図書館、2階に交流センターや会議室、3階には町の健康福祉課や保健センター・社会福祉協議会などが入った、複合施設です。みらいぶを起点に、町役場や商工会、銀行や商店、立山町商工交流館「休んでかれや」などが、徒歩で気軽に行ける距離に並んでいます。

また、五百石駅前は立山町が運営する「ここバス」や「おでかけワゴン」のバス停もあり、日常の用事や町内施設へのお出かけ、また、観光の足としても便利です。

Gohyakkoku then and NOW—the center of commerce and industry, outings, and tourism

Tateyama Town Genki Exchange Station (also affectionately known as Miraibu) is a complex facility made up of three floors. The first floor contains a library and Gohyakkoku train station, the second floor holds the community center and meeting rooms, and the third floor has the Town's Health and Welfare Department and the Health Center as well as the Social Welfare Council. Outside Miraibu's entrance, various places such as the town hall, banks and businesses, the local Society of Commerce and Industry office, and its Yamandekureya Exchange Center all line the roads within walking distance.

Also, in front of Gohyakkoku Station see the stops for the Town's local bus routes (Koko Bus and Odokute Wagon), allowing for convenient trips to everyday engagements, visits to local facilities, and of course, sightseeing areas.



山王神社獅子舞り 4月



米道おどり 8月15日夜/善入寺



目桑ちりめん節

町の宝物
伝統を受け継ぎ、未来へ：



利田荷方節



池田淨瑠璃



宮路獅子舞 4月第1日曜/宮路神明宮



立山町元気交流ステーション(みらいぶ)

Tateyama Town Genki Exchange Station (Miraibu)

みらいぶの駐車場は4時間まで無料で利用できます。



前沢中央公園

Maehama Central Park



まちの駅 休んでかれや
(立山町商工交流館)

Exchange Center for Tateyama Town's Society of Commerce and Industry, Yamandekureya



町の特産品
展示・販売

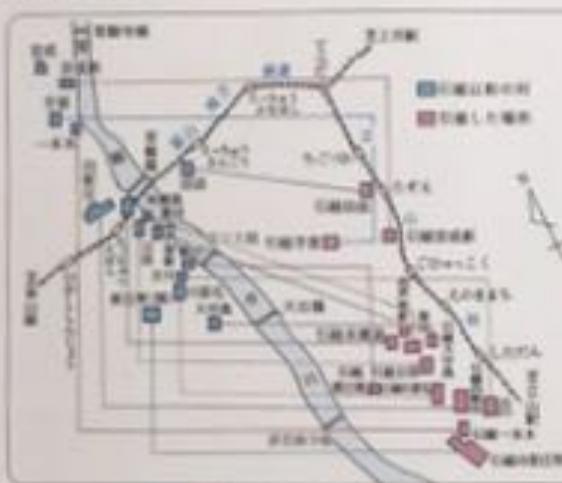
わがまちの逸品「立山ブランド」

—町内で生産された、立山町ならではの魅力・特色ある加工品・農産物—

産地限定 立山のちから米	076-483-2828	黒たてやま
立山もも【プレミアム】	076-462-2151	黒たてやま農業組合
乳酸菌発酵竹茶 福竹茶	076-464-5314	黒ビオロジックノゾコ
立山連峰の清水 他	076-463-4539	黒匠
水の王国 他	076-462-2360	黒宝水
立山町西谷南産 ラ・フランスストレートジュース	076-462-3759	上東果樹生産組合
立山権現かんもち「紙風船」	076-463-5700	黒食彩工房たてやま
立山権現「編みかんもち」	076-463-5700	黒食彩工房たてやま
かあさん漬け	076-462-1012	J.A.かあさんの店
立山三六そば	076-483-2828	立山町そば推進協議会
おかゆっこ しろがゆ	076-463-1936	新立山ファーストC.
立山シフォン	076-463-2820	米つ粉俱楽部
立山の農家が作ったみそ	076-461-4321	まいこいの杜
越中瀬戸焼	076-462-2846	かなくれ会
立山四季の水	076-463-5454	黒大胡革

下段 Shitadan

今から約150年前(安政5年)におこった飛越地震に起因する常願寺川の大洪水は、荒れた原野に水と泥土を運び込みました。開拓しやすい状況になったことにより加賀藩は、左岸の被災者に右岸への引っ越しをすすめました。たび重なる氾濫に困っていた人々は、神社の社殿を引越し先に造り直し、村をあげて移り住んだということです。そのため、桙町や下段のあたりには富山市の町と同じ町名がたくさんあります。



引ったくした村々

The relocated villages

About 150 years ago in 1858, the Hōetsu earthquake shook the earth. This resulted in the flooding of Jōganji River and the carrying of water and mud into the wilderness. In order to reclaim this area with rich soil, the Kaga clan relocated the victims of the disaster on the west side of the bank to the east side. Those villages greatly troubled by the repeated flooding worked on rebuilding Shinto shrines in the newly reclaimed lands and relocated in groups. As a result, the areas of and around Enokimachi and Shitadan have many of the same names as neighbourhoods in Toyama City.

「川の氾濫がないことを常に願う」…常願寺川

富山市と立山町を東西に分けて流れる常願寺川の延長は、わずか56km。水源である立山連峰から富山湾までの標高差3,000mを一気に流れ下る、世界でもまれな急流です。

かつての常願寺川は急流といえども青く水を湛え、今の岩崎雄山神社あたりまで帆かけ舟が通っていました。その常願寺川を変貌させたのは、安政5年の大地震でした。このとき、立山連峰の一峰「嵩山」が山ごとずるりと抜け落ち、岩や森や草木を巻き込んで立山カルデラ内に崩れ落ちました。崩れた土砂の量はおよそ4億トン。そのうちの約半分が常願寺川を伝って流れ、下流に大きな被害をもたらしました。それからというもの、立山カルデラに残った土砂は大雨のたびに流れ出し、流域の人々を苦しめました。

明治の中ごろ、富山県は常願寺川を改修しようと、オランダ人の技術者デ・レーケを招いて治水の方法を学びました。その後、「水害をなくすには、山を治めることが重要である」との結論に至り、大正15年からは国によって砂防事業が行われるようになりました。

大森 Omori

桙町駅・下段駅から西に進むと、のびやかな田畠が広がる大森地区に入ります。見晴らしのよい常願寺川の堤防道路を立山連峰に向かって走ると、右傍らに「西大森の大石」があります。高さ7.2m、周囲の長さ32.4mもある巨石は、山と常願寺川が編んだ歴史の凄まじさを物語り、町の天然記念物に指定されています。

Advancing from Enokimachi Station and Shitadan Station to the West, you will reach carefree Omori area, filled with rice fields. There are fantastic views of Tateyama's peaks from the raised embankment lining Jōganji River. To the right of these embankments nearby you will find The Boulder of West-Omori. At a height of 7.2 meters (23.6 feet) and a circumference of 32.4 meters (106.3 feet), the enormous stone weaves tales of violent history between the mountains and Jōganji River and is designated as one of the Town's natural monuments.



西大森の大石

The Boulder of West-Omori



一夜泊稻荷神社

Ichiyadomari Inari Shrine



永昌寺の耳地蔵

Mimi-Jizo of Eishōji Temple

耳の病を治してくださると
喜われています。



常願寺川の河原に群生するぐみ

Silverberries on the dry riverbed of Jōganji River

秋の深まりとともに甘酸っぱい実をつけるぐみ。常願寺川の河原での群生は日本一のスケールです。乾きやすく栄養分の少ない土壌でも生きていけるぐみの一番の弱点は日光不足。ぐみは、日光を求めて河原に進出したのです。

かまがふち
釜ヶ淵 Kamagafuchi

江戸時代の初め頃、米道村の林権右衛門は用水を掘り始めました。この用水は、常願寺川上流の釜ヶ淵という場所で川の水を取り入れたことから釜ヶ淵用水と名付けられ、この用水が潤す地域を釜ヶ淵と呼ぶようになったということです。釜ヶ淵地区には、「釜」が登場する伝説がいくつも残っています。

At the beginning of the Edo Period, Gonemon Hayashi of Yonemichi Village began to dig irrigation channels. These channels would bring upstream water flowing from Joganji River from an area called Kamagafuchi and would be given the name Kamagafuchi Irrigation Channels. The land that would receive the water would, over time, also come to be known as Kamagafuchi. To this day, there are many legends surrounding *Kamu* (in English, "iron pot") in the Kamagafuchi area.

玄勝寺ハイツスポーツ公園

Koganei Heights Sports Park



富山地区店舗用クリーンカンタ

Greater Toyama Regional Cleaning Center

温水プール・テニスコート・スポーツ広場などの施設がそっています

すえさみがの
末三ヶ野の開拓

この地区で古くから拓いていた村は、柄津川沿いの米道村と末谷口村でした。両村は、やはり古い村だった上末とともに「末三か村(すさんかそん)」と呼ばれていました。一方、常願寺川に近いあたりは原野で、加賀藩がこの原野を末三か村に管理させたことから「末三ヶ野」と名付けられていました。安政5年の大洪水により大きな被害を被った末三ヶ野を末三か村は、魚津の商人「三賀屋(さんがや)」に売り渡してしまいました。三賀屋の力入れにより下新川の村から移住する人もいて、開拓は徐々に進みました。ところが、加賀藩が末三か村に「末三ヶ野を開拓せよ」と命じたため、三賀屋は実情を藩に訴えました。詮議の結果、末三か村は、加賀藩が立替えたお金で賣い戻されました。

やがて明治の新政となり、新川県庁による「立替金は返すに及ばず」という決定は、末三か村と末三ヶ野の対立を生み、所有者と開拓者の紛争に発展しました。結局、「公金で買い戻したのであるから、末三ヶ野は公用地である」という結論に達し、開拓された土地は開拓した人のものとなりました。



うわ だん 上段 Uwada

常願寺川右岸扇状地より一段高い上段地区は、西に富山平野を望み、北には富山湾を眺めることができます。

地区の北端に残る藤塚古墳や、古い記録に名前が記された日置神社、県道横にひっそり佇む日中軽塚、平安時代に上末で須惠器が焼かれていたことなどが、この地区の歴史の古さを示しています。上井町から日中を通って芦原寺へと向かう道は、昔の山野拝ルートのひとつでした。

江戸時代の初め、加賀藩の力添えにより、尾張の国瀬戸から陶工を招いて焼物が作られるようになりました。越中瀬戸焼は、藩の保護のもとで栄えました。現在はそれを受け継ぐ人々によって守られ、魅力を発信する努力が続けられています。

To the delta of the Jōgani River cliff-side, atop a terrace where cone-shaped deposits of sediment built up, awaits Uwadai region. With open fields lying in the west, the north holds wondrous views of Toyama Bay.

At the northernmost part of the region, one will find many historical sites emphasizing the ancientness of the area, such as the Fujizuka Tumulus, Hioki Shrine that appears on ancient records, the quiet Nicchū suna mound on the side of the prefectural road, and places where unglazed pottery known as Sue ware from the Heian period were baked. The road that goes from Kamischi Town to Ashikuragi through Nicchū was one of the old pilgrimage routes to Mt. Tateyama.

In the early Edo period, with the help of the Kaga clan, pottery was beginning to be made in the area by inviting potters from Seto of the Owari province. The Echū-Seto ware flourished under the protection of the clan. The tradition is still unbroken and actively promoted by its heirs today.



目次

44-1539



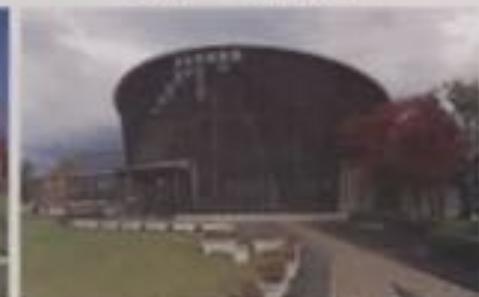
日中釋文

Sutra Mound of Nichii



立山町聯合公園 とりでの日

Hilf-Fortsetzung auf Turnbeamer-Schreiber-Papier



越中陶の里 陶農館

©2012 Sub-nano-World Foundation

ひがし たに 東 谷 Higashitani

上段地区の東側を流れる白岩川の上流が東谷地区です。山あいの村には、不思議な昔ばなしをいくつも伝わっています。かつて盛んだった機織り作業の様子を歌う「目桑ちりめん節」は、町の文化財です。

休日や夏休みに家族連れで賑わう「昆虫王国立山」は、イベントや体験をおして山里の自然に触れることができる施設です。また、特産品も販売されています。

If you wander upstream the Shirawa River from the east side of Uwadan region, you'll find yourself in Higashitani region. This village tucked away in the valley has many strange tales from once upon a time. Once a prosperous place for the weaving industry, the Mekka Silk Crêpe song (Mekka Chirimen Bushi) remains today as a town's cultural asset.

On holidays and during summer vacation, families crowd together at the Tateyama Insect Kingdom (Konchu Otsuka Tateyama), a facility for events and experiences that allow people to feel first-hand the nature of the mountain village. Speciality products are also sold there.



岩室の滝

Iwamuro Falls



白岩川ダム Shirawa River Dam



特産 ラ・フランス

Specialty Product:
La France pears



立山自然ふれあい館
昆虫王国立山

Tateyama Natural Meeting House; Tateyama Insect Kingdom



福若の水
Fukukawa Water

いわ くら 岩 嵴 Iwakura

「峠」という独特的の文字には、「神が宿る神聖な場所」という意味があります。立山の神を祀る雄山神社前立社壇（岩崎雄山神社）は、常願寺川が山あいから平野へと流れ出る場所に鎮座しています。かつては立山寺（岩崎寺）と呼ばれ、中宮寺（芦峠寺）とともに立山信仰の拠点として栄えました。

このあたり一帯にはたくさんの石仏が点在し、岩崎寺の歴史の深さを偲ぶことができます。

The second kanji in *Iwakura* is a unique character that means "a holy place where God resides." One can pray to the God of Mt. Tateyama at Maetate Shadan of Oyama Shrine (also known as Iwakura Oyama Shrine), which is located in the valley where Jōganji River flows out from between the mountains. Formerly called Tateyama Temple (Iwakura Temple), together with Chaga Temple (Ashikura Temple), they flourished as places of Tateyama mountain worship.

Around this whole area, one can find many existing stone statues of Buddha and come to understand the profound history of Iwakurajima region.



岩崎雄山神社

Iwakura Oyama Shrine

4月8日の春季例大祭、
11月3日の秋季大祭には、石舞台の上で稚児舞・巫女舞が披露されます。



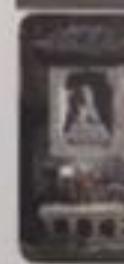
岩崎寺の石造物

Stone structures found in Iwakura area



グリーンパーク吉峰

Green Park Yoshimine



岩崎雄山神社から横江方面に続く旧道は、道かに立山連峰、手前に尖山を望む絶好の散歩道。のどかな田畠や路傍の石造物から、ひと昔前にタイムスリップしたようです。



ちがき 千垣 Chigaki

千垣駅は、大正12年に富山県営鉄道の終着駅として開業し、昭和18年から富山地方鉄道の駅になりました。現在、ここから芦嶺地区へのバスが発着しています。



千垣五輪塔
Chigaki Gorinto

立山開山のお話…白鷹伝説

今から1300年ほど昔、越中の国守佐伯有若の息子有頼は、父が大切にしている白い鷹をつれて狩りに出ました。ところが突然、鷹は空高く舞い上がり山の方に進みました。有頼は必死に追いかけ、野に宿して探し続けました。朝になり、大きな川のそばで松の木にとまっている鷹を見付け駆け寄ろうとしたとき、大きな蛇が現れ、鷹は再び飛び去ってしまいました。驚いた有頼が飛めがけて弓矢を放つと、矢は鷹の左胸深く突き刺さり、鷹は血を流しながら逃げました。鷹を追って血の跡を辿るうちに辺りはずっかり山深くなり、あまりの険しさに力尽きそうになる有頼の耳にお念仏の声が聞こえました。お念仏と思ったのは、雲の上から落ちる大滝の音でした。莊厳な滝をひれ伏して拝み、心を引き締めて再び前に進みました。ついに有頼は、雲上の高原に立ちました。すると、探し求める鷹は天を駆け、鷹は地を走って、ともに岩屋の中に逃げ込みました。後を追って岩屋に駆け込んだ有頼の目に入ったのは、金色に輝く阿弥陀如来と不動明王のお姿でした。胸に矢が刺さった阿弥陀如来は、「立山は、地獄も極楽もある尊い山です。この山を開いて人々をさまざまな悩みから救ってもらいたいと、あなたをここまで導いたのです」とお告げになりました。決心を固めた有頼は、名を「慈興」と改めて仙門に入り、立山を開くために一生を捧げたということです。



あしきら 芦嶺 Ashikura

立山信仰の拠点として栄えた芦嶺地区には、有形・無形の文化遺産がたくさん残っています。県道に沿って並ぶ集落のほぼ真ん中に、芦嶺雄山神社、登拝者の宿坊だった教算坊、さらに、布橋瀧頂会が行われる圓魔堂・布橋があります。また、「幡(うは)尊お召替」や「数珠くり」などの伝統的行事は、芦嶺の人たちよって受け継がれています。

芦嶺雄山神社に隣接する立山博物館は、立山の歴史や文化を紹介しています。同館の野外施設まんだら遊苑では、立山曼荼羅の世界を形や音・光・香りなどから体感できます。



芦嶺中宮雄山神社
Ashikura Chugū Oyama Shrine



布橋 Nunobashi Bridge

布橋瀧頂会は、女性のための「心の癒しの儀式」として3年に一度実施されています。

芦嶺雄山神社例大祭

毎年7月下旬に行われる芦嶺雄山神社例大祭には、佐伯有若・有頼親子を祀る意味が込められています。大宮から有若の、若宮から有頼の御靈代を迎えた2基のお神輿が、大宮参道の分岐点で対面し、「ヨイショ」の掛け声でお神輿を前に傾け、出会いのあいさつを2度交わします。祭りの儀式が終わると、お神輿は分岐点で別れのあいさつを2度交わし、宮司のときの声を合図に勢いよく大宮・若宮へ駆け戻り、御靈代を納めて祭事は終了します。



まんだら遊苑 Mandala Yuen



立山芦嶺ふるさと交流館
Tateyama Ashikura Community Exchange Center

旧保育所を改装したふれあいとくつろぎの場。郷土料理が食べられます。

千寿ヶ原(立山駅周辺) Senjughara (The area around Tateyama Station)

富山地方鉄道立山線の終着駅である立山駅は、立山黒部アルペンルートの富山側の出発点でもあり、長野側の終着点です。立山駅前からは称名滝探勝バスが発着しています。

立山駅がある千寿ヶ原は、称名川と常願寺川が合流する場所で、富山平野を水害から守る国土交通省立山砂防事務所や、立山の特色ある自然や砂防について紹介する立山カルデラ砂防博物館があります。

Tateyama Station is the last station on the local Chitetsu train line. It is the first stop on the way to Tateyama Kurobe Alpine Route from the Toyama side, and consequently, the last stop from the Nagano side. In front of the station is also where the bus stops to take eager sightseers to Shomyo Falls.

Senjughara, where Tateyama Station is located, is the place where Jōganji River and Shomyō River meet. It is also where the Tateyama Mountain Area Sabo Office of the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, known for protecting the Toyama plain from flood damage, and the Tateyama Caldera Sabo Museum are located. At the museum, one can be introduced to Tateyama's unique natural characteristics and fascinating details regarding erosion control.



観光の拠点立山駅と駅前ロータリー

Sightseeing Spot: Tateyama Station and the Rotary in front of the station.

立山砂防…「護天涯」への挑戦

安政5年の大地震(飛越地震)以来、下流大改修工事により常願寺川の水害は少なくなったものの、上流から流れる土砂のために繰り返し氾濫がおこりました。明治39年、富山県は国の保護を受けて上流の砂防工事を着手しました。「護天涯」は、「流域住民をまもるために天涯(天のはて=立山カルデラ)を護ることが大切」という意味で、立山砂防の重要性を表しています。工事は困難を極め、大正15年から国による直轄砂防となりました。現在、本宮砂防ダム(国登録有形文化財)・白岩堰堤(国重要文化財)を有する立山カルデラ砂防工事は世界的にも有名になっています。



立山カルデラ砂防博物館

Tateyama Caldera Sabo Museum

称名滝…立山連峰に源を発する称名川が、弥陀ヶ原大地から流れ落ちる滝。4段からなり、落差350mは日本一。

水量の増す雪解けの頃に右側の崖に現れるハンノキ滝は、落差500m。この時期に限って、日本1位と2位の滝が一つの滝壺に流れ落ちます。

Shomyo Falls – The tallest waterfall in Japan is part of Shomyo River, which originates from the Tateyama mountain range and flows down from Midagahara Plateau. It is composed of four main drops, with a total height of 350 meters.

When the water increases from snowmelt in early summer, Hannoki Falls appears at a stunning 500 meter height. At that time Hannoki and Shomyo transform into Japan's highest and second highest falls, and flow together as twin waterfalls.



あくしろ
悪城の壁…かつて立山火山が噴出してできた溶岩台地(弥陀ヶ原)が、氷河と称名川に侵食されてできたと考えられる一枚岩の断崖。「恐ろしく、皆のように人を寄せ付けない崖」という意味で名付けられたそうです。



Akushiro Walls – This is the cliff of the monolith on the Midagahara plateau thought to be created when Tateyama Volcano erupted. Glaciers and Shomyo River eroded the cliffs. It was aptly named *akushiro*, here meaning "a tremendous fort-like cliff one must not be let near."

立山にある日本一紹介

称名滝…落差350m。2位といわれる羽衣の滝(北海道)は270m
悪城の壁…一枚岩の断崖として日本一。横2km、高さ500m

立山五段の湧水…雄山直下から湧き出る、日本名水百選の最高所(旧)室堂小屋…山小屋として使用された建物としては日本最古

みくりが池温泉…標高2,410m、日本一高所にある天然温泉

ホテル立山…日本一高い所にあるリゾートホテル

立山トンネル…日本最高所。室堂と大観峰を結び、立山直下を通り

立山ロープウェイ…途中に支柱がないワンスパン方式としては日本最長

黒部ダム…ダムの高さ(堤高)186mは日本一。堤頂の長さ492m

常願寺川の勾配…源は立山連峰。全国一級河川の中で急流日本一

An Introduction to Japan's Best in Tateyama

Shomyo Falls / Akushiro Walls / Tateyama Tamadono Spring Water / Murodō-Goya / Mikurigaike Hot Springs / Tateyama Hotel / Tateyama Tunnel / Tateyama Ropeway / Kurobe Dam / Steepness of Jōganji River

中部山岳国立公園 立山

Chubu-Sangaku National Park Tateyama

立山連峰の生い立ち

立山連峰の山々は、高さが3,000m前後ではほぼ一定であることや、山頂付近に平坦部が多いことなどから、平坦な地形が隆起して山脈になったと考えられています。(30万～50万年前)

立山の火山活動

火山活動が始まったのはおよそ22万年前、立山の西側における溶岩や噴出物噴出の始まりは約13万年前ということです。火碎流噴出や溶岩流、カルデラ侵食、溶岩噴出などの火山活動が続き、弥陀ヶ原、天狗平、天狗山、国見岳などが形成されてきました。

約1万年前から立山の火山活動は水蒸気爆発程度となり、この間に地獄谷やみくりが池が形成されました。

立山室堂

室堂平は標高2,450m、1年の約8カ月を雪に覆われる世界でも有数の豪雪地帯です。アルペンルート全線開通直後の4月中旬から6月中旬にかけて「雪の大谷」を歩くことができます。夏でも涼しく、気圧が低いので平地から持参した菓子袋は内部の気圧の方が高くなつて膨張します。高山植物は、雪のない3～4カ月の間に花を咲かせ、実をつけます。

室堂ターミナルを拠点に遊歩道を歩くと、ライチョウに出合うことがあります。また、玉殿の湧水、みくりが池やみどりが池、地獄谷のほか、氷河地形の圓谷・山崎カールを見ることができます。立山水河は平成24年4月に、日本唯一かつ国内初の現存する氷河として学術的に認められました。

天空の湿原…立山弥陀ヶ原・大日平

立山弥陀ヶ原・大日平は、雪解け水ができる平坦な雪田草原および水量豊かな称名渓谷・称名滝からなる湿地です。この独特の環境を好み多種多様な動植物が生息し、また、富山のおいしいお米を育み生活を潤す水資源になっています。

平成24年7月、湿地の保全と賢明な利用を目的とするラムサール条約に登録されました。



室堂遊歩道から望む立山連山

From Murodo Promenade Road towards the beloved Tateyama mountain range

地獄と極楽がある山

昔の人々は山を、神に近い場所として崇め、死者の魂が行くあの世として恐れました。やがて神と仏の習合により、越中立山の山中には、死靈が跋きを受ける地獄があり、極楽淨土もあると信じられました。時代が進むにつれ、山で修業をする修験者に限らず、参詣のための登拝者が増えてきました。



越山神社の立山頂上峰本社

The Main Shrine of Tateyama Shrine at Tateyama Mountain summit

「立山」の名はどこから

奈良時代の歌集万葉集には「多知夜麻」と記された一節があり、平安時代の歌集から「立山」の文字が認められます。立山の名は、そびえる峰々の険しい山姿から「たち山」と名付けられたとも、神靈が現れるときの「タツ」からであるとも、「高くそびえ立つ山」というイメージがそのまま語源になったとも言われています。

Mt. Tateyama Towering over the southeast of Toyama Plain, the graceful Tateyama mountain range serves as a rich water source to the people in Toyama who take great pride in the mountains. Many people visit the beautiful mountains for sightseeing, while some attempts to climb and challenge their steepness. Mt. Tateyama is an active volcano and becomes covered with deep snow in winter, teaching us the severity of nature.

ライチョウのお話

ライチョウは、北極海沿岸と一部の高山帯にのみに分布します。高山帯に生息するライチョウは、氷河期の懐留種「生きた化石」とされています。それは、氷河期に南下し温暖化による氷河の後退により北方に移動した際、取り残されてしまった個体群が高山で生き続けたからです。

ライチョウの体の色が季節に応じて変化することはよく知られていますが、他にもいろいろな特長があります。寒さへの備えとして、羽毛の形は二重構造、しかも足の指まで覆う羽毛はかんじきの役目、丈夫な指爪は氷を搔くアイゼン、鷹のような翼型のくちはしは凍りついた雪の下の脚を掘り出すのに最適など…。

ライチョウは、国指定の天然記念物であり、富山県の県鳥です。富山市ファミリーパークでは、ライチョウの人工ふ化に成功しました。



The Raicho's Story

The Raicho, or ptarmigan, are birds famous in Toyama for inhabiting Tateyama mountain. Its plumage changes depending on the year; in winter, it becomes a pure white, easily blending into the snow on the mountainside. In the summer, its feathers change to a soft brown and gray which camouflages it from predators on dry, rocky slopes. Raicho are endangered birds and are designated as Toyama's Prefecture Bird as well as a Special National Treasure of Japan.

テレホンガイド

市外局番 076

舟橋村役場	464-1121	立山舟橋商工会	463-1221
舟橋会館	464-1126	立山町総合公園	464-1601
舟橋村立図書館	463-5831	立山町埋蔵文化財センター・郷土資料館	463-1050
立山舟橋商工会舟橋支所	464-1516	立山町勤労青少年ホーム	463-0321
立山町役場	463-1121	立山自然ふれあい館	462-8555
立山町商工観光課	462-9971	昆虫王国立山	
立山町観光協会	462-1001	越中陶の里陶農館	462-3929
立山町民会館	463-3535	グリーンパーク吉峰	483-2828
立山町元気交流ステーション【みらいふ】	463-0001	立山芦嶺ふるさと交流館	482-1756
立山図書館	463-0634	立山博物館	481-1216
立山町商工交流館 まちの駅休んでかれや	464-1770	立山カルデラ砂防博物館	481-1160
		国立立山青少年自然の家	481-1321

ふるさとへの厚い想いを込めて平成元年に「たてやま遊歩」を発行して以来、私共女性部には、「町(村)の今昔を知っていたい、訪れる人に知っていただきたい」と願う気運が継続していました。ただ漠然と「改訂版遊歩を…」と考えていたところ、30年近く経ってなお皆様からご期待をいただき、さらにこのたび県商工会連合会の「元気な商工会地域づくり支援事業」としてご支援をいただいたお陰により、立山舟橋商工会女性部として「ゆるぶら遊歩」を発行することができました。編集を進めるにあたり部員有志が集い勉強会を開いて町(村)の歴史を学びましたが、限られた紙面の中で、書き足りない部分、不備な箇所が多くあると思います。至らぬ点は、私共がこれから学ぶ課題としてご容赦いただきたくお願い致します。

「ゆるぶら遊歩」発行に向けてご協力・ご支援くださった皆様に深く感謝し、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。(林記)

—ご協力くださった方々—

英語翻訳	Haley Rae Alt (ヘイリー・レー・アルト)
地図・絵地図	大瀧真澄
写真提供	利田荷方節保存会 五百石天満社 立山博物館 内山 修 山田宣道 水野敬雄
協 力	立 山 町
	敬称を略させていただきました

立山舟橋
舟橋

たてやま・ふなはし散策

ゆるぶらマップ



富山地鉄 かばちゃ電車

新川
高野
利田
五百石

五石



ゆるぶら

マップポケット

—お気軽にお出かけください—

平成28年3月